

第1回 第2次四国中央市男女共同参画計画委員会会議録

1. 開催日時 平成26年11月 6日（木） 19時00分から20時00分
2. 場 所 四国中央市保健センター2F 研修室
3. 出席者 市長 篠原 実
(委員長) 亀岡 マリ子 (副委員長) 山川 昭典
(委員) 宮崎 恵、窪田 幸子、山下 宏二
 苅田 佳子、井上 仁
(欠席委員) 加地 令子、内川 眞千子
(事務局) 市民環境部長 尾藤正芳、市民交流課長 金崎佐和子
 市民交流課女性政策係 石川友紀
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 市長あいさつ
 4. 自己紹介
 5. 委員長、副委員長選出及びあいさつ
 6. 説明事項
 - (1) 第2次計画について(概要・市民の意識・スケジュールなど)
 - (2) 第1次計画の進捗状況について
 - (3) 今後の予定について
 - (4) その他
 7. 閉会
6. 会議録 次頁のとおり

	<p>説明事項(1)第2次計画について (概要・市民の意識・スケジュールなど)</p> <p>説明事項(2)第1次計画の進捗状況について</p> <p>事務局から説明後、意見交換</p>
委員	<p>平成22年度から計画が実施されていますね。 6月23日からの1週間は国の男女共同参画週間となっていますので、それに合わせて先程言っていた啓発もしてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>人権擁護委員さんともなかなか連携がとれていないのですが、昨年度ソロプチの方々が行った「DVが子どもに及ぼす影響」という講座をされて、その時に人権啓発担当の方と一緒に女性政策のパンフレットを配っていただいて啓発しました。第2次の時には人権担当の方から、一緒に啓発しましょうといった働きかけがあればできるので、是非提案して欲しい。</p>
委員長	<p>今委員が言われたのは国の啓発週間ですが、愛媛県はその前1週間を愛媛県男女共同参画推進週間として県民大会とかいろんなイベントがあり市からも参加していると思いますが、イベント等のポスターの掲示もしているはずなのですが、まだまだ浸透していないのが現状だと思います。</p> <p>第1次の進捗状況の表を見させていただいていると、「実施なし」や「予定なし」いった部分が気になるのですが、実施している各課に対して進捗状況などのヒアリングなどをする機会がありますか？</p>
事務局	<p>ヒアリングとまではいかないのですが、関係各課に1人ずつ庁内推進委員を置いてもらい、毎年5月に前年度の実績と今年度の目標数値を報告してもらおうといった委員会を開催しています。しかし、一つの担当課とのヒアリングといったようなことは現在していません。</p>
委員長	<p>市民の方への啓発と、市役所内部の啓発と両方が必要だと思います。そういったことも今後考えていただけたらと思います。</p>
	<p>説明事項(3)今後の予定について</p> <p>事務局から説明後、意見交換</p>
委員	<p>これは非常に難しい課題だと思います。</p> <p>確かフィンランドは男女共同参画について先進国だと理解しているのですが、20年前は日本と変わらなかったと思うのですが、それがなぜそこまでになったのかという要因に、いろんなところで議論を繰り返して、意識を高めていったことだったと思います。</p> <p>そういったことから、今回の進捗シートについてもいろいろと議論をしていかなければいけないと思います。</p> <p>また、耳障りのいいことだけで実現性の乏しい計画になってしまうということがありがちですが、せっかくなので具体的な一歩前に出るようなものにならなければいけないと思います。そのためにも数値目標を掲げていくのかということは重要で、宇和島市さんは思い切ったことをしていると感じるのですが、市としてはどのあたりをイメージしていますか？</p> <p>また、家庭生活での数値をもっと良くしていく、職場での数値を良くしていくなどありますが、職場でのことになると企業も関係してくるので生半可なことでは難しいと思います。</p>
事務局	<p>松山のワークライフコラボというNPO法人が国や県から支援を受けて、ワークライフバランスの仕</p>

	<p>事を行っています。そこには当市出身の方もおられて、懇話会にも参加していただきました。そこはいろいろなパンフレットも作成しており、市内の企業を訪問してワークライフバランスについて啓発活動を行っていますので、今後はそこに事業を委託するなどして企業を回って啓発していけたらと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>宇和島市さんの数値目標の資料をお配りしていますが、四国中央市も市内の数値目標は今までもあったのですが、公表されていませんでした。</p> <p>そのため今回は、より実効性のある計画にするため、もう少し項目も増やして、市民の皆さまに公表するといった取組みをしようとしています。</p> <p>市としては、重点目標ごとにいくつかの数値目標を立て、それを市民のみなさんに公表することによって、市民の皆さんにわかっていただき、「もっとこうして欲しい」「この分野が遅れているのでは？」などと考えてもらい、計画が進んでいくことを期待しているのだと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>第2次四国中央市総合計画の素案の中に、男女共同参画に関する数値目標を、国や県も力を入れている審議会における女性の登用率と、市の職員の中での女性の管理職の増員についての2項目を掲げています。</p>
<p>委員長</p>	<p>先ほど委員がおっしゃったように、フィンランドなどはどんどん議論を進め、クォーター制といった、議員などの女性の比率を制度で定めたりした結果、日本との差ができてきました。日本はまだまだそこまでいっていないのですが、やはりこういったことから数値目標を掲げるというのは大変効果的だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>説明の中で、今回は計画書の概要版を作成して啓発に活用するということがあったのですが、第1次の計画書を市民のみなさまが目にすることはありませんでしたが、第2次についてはほとんど市民のみなさんに届いていくということですか？</p>
<p>事務局</p>	<p>いろいろな会で概要版をお配りしていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>会に参加された特定の人だけでなく、もっとたくさんの市民の方に伝わるような方法も考えた方がよいのではないのでしょうか。男女共同参画は家庭単位で進めていくこととなりますと、やはりそこまで浸透するようにわかりやすい概要版が市民の方に届くといいなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>予算の関係もあると思いますが、始めは各会で配布したり、市の主要な施設に置いてもらったりして、予算がとれれば概要版よりももう少し簡潔にしたリーフレットを配布してもいいし、委員のおっしゃったように全戸配布してもいいと思いますが、その方法等も委員のみなさんのお知恵をお借りして工夫できたらいいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>活字ばかりの計画書を市民に配っても正直見てくれないと思います。</p> <p>せっかくお金を使って作るのだから、中身の濃い、四国中央市らしい計画書にすればいいのではないかと思います。</p> <p>こうやって集まって意見を出して、市民のみなさんにわかりやすい計画書を届けて理解してもらわないと、活字ばかりでは浸透しないと思います。</p>